

事業所情報

事業所名	なかま	みらい
サービス提供時間	月～金曜 10:00～17:00	13:00～17:00
	土曜・祝日 9:00～16:00	
	長期休暇 9:00～16:00	9:00～16:00
定員	各 10 名	
送迎	あり	

法人理念

「子を思う親の気持ちに寄り添う」

支援方針

一人ひとり違った個性、長所、役割を一緒に見つけ出し、伸ばし、発揮していただくような支援を行い、利用者・支援者がともに成長していける「共に生きる社会」を目指します。

健康状態

〈健康・生活〉

食ること、排泄すること、清潔を保つこと、気候に応じた着衣など日常生活について、本人の発達に応じたサポート及び自立に向けての支援に努めます。

心身機能・構造

〈運動・感覚〉

運動やダンスなど体を使う課題の中で、身体能力の維持向上を図ります。又、視覚・聴覚・触覚などの感覚を活用する活動を提供します。

活動

〈認知・行動〉

視覚支援や環境整備により情報の取得を促し、見通しを持つことで、落ち着いた行動に繋がっていきます。
色や数字、物の形や機能などの概念の形成を図ることによって、認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援します。

〈言語・コミュニケーション〉

話し言葉や身ぶり、指差し、絵カード、文字など様々な手段を使って、意思疎通が図れるように支援します。又、人との相互作用によってコミュニケーション能力の向上を図ります。

参加

〈人間関係・社会性〉

人との信頼関係を築き、周囲の人と安定した関係形成を図ります。模倣行動により、社会性や対人関係の芽生えを支援し、ごっこ遊びなどの象徴遊び、共同遊びを通して社会性の発達に繋がっていきます。

個人因子

〈体験・経験（行事等）〉

季節ごとのイベントや長期休暇中のお出かけなどを通して、様々な体験・経験を重ねることにより心身の成長に繋がります。

環境因子

〈家族支援〉

本人及び家族の思いと向き合い、寄り添いながら関係機関との連携を深め、課題に取り組んでいきます。

〈移行支援〉

将来的なライフステージを見据えて、関係機関との連携を進めていきます。

〈地域支援・連携〉

子ども園や学校との情報連携を始め、他の障害児通所支援事業所など、関係機関全体で包括的な支援を提供します。

〈職員の質の向上〉

事業所内において、具体的な対策検討や長期休暇前後の留意点の確認、反省など、適時に会議を開催します。また、虐待研修を始め、事業所内外の研修会に参加し、資質向上に努めます。

なかまの取り組み

あそびや運動などのプログラムを通じて、集団の中での経験を豊かにし、円滑に社会生活を送る力を身につけるよう支援します。

みらいの取り組み

一人ひとりの特性に注目して、持っている力を伸ばすための支援を行います。

今できることを精一杯頑張れるよう、また、まだ現れていない可能性を引き出せるよう、さまざまな課題にチャレンジしていきます。

活動プログラムと5領域 健康・生活

なかま	クッキング	おやつ作りを通して食育を行う。
	運動	体力づくり。水分補給の意識付け。
	わくわくデー	体力づくり。水分補給の意識付け。
	工作	物を管理する力や、物の特性を理解し扱い方を身につける。
	駄菓子屋さん	買い物の流れを体験し、お金に触れることなどの経験を日常生活に活かしていく。
みらい	おやつバイキング	手洗いやテーブルの保清、スペシャルメニューの選択を実生活に活かす。
	あそムーブ（屋上遊び）	健康状態のチェック。青空の下でのびのびと動く。
	みらいタイムズ	テーマによって日々の行動を振り返る機会と共に、行動のきっかけとする。
	トリセツ	日常生活に密接に関連する取り組みで、自主的にできるようになることやその手順を知ること とで日常生活が保たれている事を知る機会にする。
	音といっしょ	ラジオ体操などにより健康増進を図る。

活動プログラムと5領域 運動・感覚

なかま	クッキング	こぼさずに容器に入れる事や、切る、混ぜる、形を作るなどの手先作業を経験する。
-----	-------	--

運動 全身を使って色々な遊びをする。

わくわくデー 全身を使って楽しく動く。

工作 切る、描く、貼るなどの手先作業を楽しむ。

駄菓子屋さん 商品をかごに入れ、支払いをする。

みらい おやつバイキング 食事をするときの基本姿勢の保持に努める。

あそムーブ（屋上遊び） 遊具を使ってのバランス保持、体幹トレーニング。つかむ、支えるなどの筋力向上。ボールを追う動体視力や瞬発動作の訓練等。

みらいタイムズ のりやテープを使うことで手先の微細動作をする。

みらいdeアート のりやテープを使っての貼り付け作業やカラーペンや絵の具などのさまざまな道具を使って色を塗る作業で、手先の微細作業を経験する。

トリセツ 水を使う作業で自分や周りを濡らさずに扱うことや水温を肌で感じる感覚を養う。又道具を扱う力の感覚（強すぎず、弱すぎない）を身につける

音といっしょ 音楽を聴きながら体を動かすことを繰り返すことで、感覚の統合を促す。

合奏や合唱で体幹を鍛え、静止する力、姿勢保持などのバランス力を養う。

活動プログラムと5領域 認知・行動

なかま	クッキング	視覚的に作業工程を示し、行動に移す。計量において数の認知を高める。
	運動	見本を見せて一緒に取り組むことで行動に移す。
	工作	見本を見せ、作り方を説明しながら一緒に取り組むことで行動に移す。
	駄菓子屋さん	金額の計算、数の認知を高める。たくさんの商品の中から選ぶ。
みらい	おやつバイキング	視覚を通して情報収集し、選択に繋げる。数やおかわりの量を加減する。偏食に対応する。
	あそムーブ（屋上遊び）	ブランコを楽しみながら壁の数字を数える。交代の為のカウントダウン。空間認識。
	みらいタイムズ	テーマに沿った内容やイラストの選択をする。 頭の中でストーリーを展開し、手で見える形にしていく。
	みらい de アート	テーマを理解し、それに沿った作品作りを意識する。色遣いを選択する力を養う。
	トリセツ	掃除をする手順を理解する。洗濯を干す際の留意点をその理由と共に理解する。 本棚の整理整頓をパズル遊びの感覚で取り組む。
	音といっしょ	音楽や映像の中で心地よい時間を過ごす。紙を破る音を音楽として味わう。 普段タブーとされる破壊行動をした感想や後片付けの気持ちの共有をする。

活動プログラムと5領域 言語・コミュニケーション

なかま	クッキング	留意点や手順等の支援者とのやり取りや、こども同士での会話の機会。
	運動	ルールや指示の理解。不明な事の質問などを通して活発にコミュニケーションを図る。
	わくわくデー	やりたいことを提案する。決まった遊びに参加する。
	工作	「むずかしい」「手伝ってほしい」等の気持ちを、言葉やジェスチャーで支援者に伝える。
	駄菓子屋さん	ほしいものを言葉や指差し、クレーンなどで支援者に伝える。
みらい	おやつバイキング	ほしいものを言葉や指差し、クレーンなどで支援者に伝える。
	あそムーブ（屋上遊び）	実際の体験に言葉をつなげることで、言語形成の機会を支援する。
	みらいタイムズ	文字・記号・絵カードなどを通して理解や意思伝達の支援をする。 展開したストーリーを言語化して他者に伝える。
	みらい de アート	月ごとの壁面制作は、周りの人と話し合いながらイメージを共有し仕上げていく。
	トリセツ	個別対応プログラムではあるが、ごみの分別のカテゴリーの時は他者と相談しながら進める。
	音といっしょ	曲のリクエストをきっかけに自発的なコミュニケーションが発生する。

活動プログラムと5領域 人間関係・社会性

なかま	クッキング	役割分担や順番を決めて取り組むなど共同作業を経験する。
	運動	集団に合わせて行動する。順番やルールを守る。
	わくわくデー	集団に合わせて行動する。順番やルールを守る。
	工作	工作を通して他者と関わる。文具のゆすり合いや手助けをすることで社会性を学ぶ。
	駄菓子屋さん	おやつを通じて他者と関わる。他者を配慮した選択や順番の譲り合い等の人間関係を学ぶ。
みらい	おやつバイキング	ルールの理解や順番を待つ。みんなでそろって「いただきます」ができる。
	あそムーブ（屋上遊び）	遊びの順番を守る。順番を守れないことの関係性。独り占めせずに交代ができる。 雨天の場合の予定変更を受容できる。
	みらいタイムズ	他者と共有する物の使い方（順番を待つ、他者に譲る）の際、内容に合った声掛けを行うこ
	みらいdeアート	とで円滑な関係を築いていく練習の場とする。
	トリセツ	他者の取り組みを見て自分の行動の参考にし、言葉の掛け合い、道具の貸し借りなどで社会性を培う。
	音といっしょ	リズムに合わせて体を動かすことで、心身の発達のサポートに繋げる。